

# 小中一貫教育推進室だより

平成 26 年 10 月 24 日

## 目 次

- |                           |    |
|---------------------------|----|
| 1 第4回校長連絡協議会グループ協議        | P1 |
| 2 第3回教頭連絡会における説明          | P1 |
| 3 校長連絡協議会における協議〈概要〉       | P2 |
| 4 小中学校間の教育課程をつなぐ          | P3 |
| 5 第2回小中一貫教育コーディネーター研修会    | P3 |
| 6 Web-meeting 会議システム活用例紹介 | P4 |
| 7 主な予定                    | P4 |



校長連絡協議会で  
グループ協議を実施

## 1 第4回校長連絡協議会グループ協議

平成26年9月30日（火）、第4回校長連絡協議会が那覇市役所12階会議室で開催されました。

この協議会では、本市教育の重要課題となっている小中一貫教育推進に係る「説明」ならびに「グループ協議」が行われました。

初めに、小中一貫教育推進室から「小中一貫教育推進の検証」「教育課程編成の工夫」等について説明を行うとともに、グループ協議の視点について確認を行いました。

後半の「グループ協議」では、17の小中一貫教育グループに分かれて、協議の視点に沿った意見交換を行いました。

協議の視点は、小中一貫教育の導入時期に合わせて3項目の視点が設定され、校長先生方の活発な「グループ協議」が行われました。



第4回校長連絡協議会の様子  
H26. 9. 30（火）於：那覇市役所

## 2 第3回教頭連絡会における説明

平成26年10月22日（水）、第3回教頭連絡会が真和志庁舎で開催されました。この教頭連絡会では、小中一貫教育推進室より下記の内容の説明を行いました。

- (1) 小中一貫教育推進の検証
- (2) 小中一貫教育グループの取組創出、充実に向けて
- (3) 依頼事項（小中一貫教育フォーラムへの参加依頼等）



上記の(1)「小中一貫教育推進の検証」では、① 小中一貫教育本格実施校(4グループ)において、学力向上、生徒指導上の成果がみられる。② 那覇市全体では、「中学校における学力向上」「児童生徒の不登校出現率」において課題が残されている。等について、具体的な資料をもとに説明を行いました。



教頭連絡会の様子 於：真和志庁舎

続いて、(2)「小中一貫教育グループの取組創出、充実に向けて」では、教育課程の系統性を確保する本格実施校の4グループの「教育計画書」を紹介いたしました。

本格実施校では、小中学校の教科の「系統表」作成を通して、教育課程の系統性を確保する取組も生まれています。今後、紙面等で御紹介をしていきたいと考えています。

最後に、(3)「依頼事項」では、12月26日に実施する「小中一貫教育フォーラム」について各学校職員の参加依頼を行いました。

小中一貫教育推進室では、教頭先生方と連携し「教育課程の系統性を確保する」取組を充実させていきたいと考えております。各学校のご協力を今後ともよろしくお願いいたします。



校長連絡協議会におけるグループ協議の様子 H26. 9. 30（火）於：那覇市役所



教頭連絡会における説明の様子  
H26. 10. 22（水）於：真和志庁舎

## 熱心なグループ協議が行われました



首里中グループ（首里中・城西小・城南小）  
H26.9.30（火） 於：市役所12F



松城中学校小中一貫教育グループの様子  
（松城中・松川小）



安岡中学校小中一貫教育グループの様子  
（安岡中・安謝小・曙小・銘苅小・天久小）



小禄中学校小中一貫教育グループの様子  
（小禄中・宇栄原小・高良小）



松島中学校小中一貫教育グループの様子  
（松島中・松島小・真嘉比小）

## 3 校長連絡協議会における協議

## 【概要】

今回の第4回校長連絡協議会では、各小中一貫教育グループの「導入時期」に合わせた「協議題」を設定し、協議を行いました。協議概要をご覧ください。

## 【第1期 平成26年度導入グループ：4グループ】

神原中・小禄中・鏡原中・金城中小中一貫教育グループ

## 1. 「本格実施1年目の中間評価」

- 不登校が減少傾向にある。
- 教育計画にある小中一貫した学習規律に沿って3校それぞれの実践を行った。（基本を押さえながら3校とも独自の取組の工夫があった）
- 小中合同研修会では、教材研究や指導方法の共有化を図ることができた。（授業改善評価シートの活用）



## 2. 「今年度後半の取組の重点」

- 中学校登校日の検討、合唱コンクールへの小学校児童の参加
- 平成26年度教育計画は、モデルグループの実践をベースに小中一貫教育の計画を作成した。平成27年度の小中一貫教育計画では、今年度実践をベースにしながらオリジナルの計画を作成したい。
- 2学期から、火曜日、水曜日の10分間、Web会議を実施する。

## 3. 「次年度情勢の基本的視点」

- 組織の見直し（事務局部会の構成）、Web会議定例化の検討
- 共通課題の確認と9年間を見通した授業実践のあり方、地域への発信
- 校長、教頭、コーディネーター会、部長会の明記（年間活動計画へ）

## 【第2期 平成27年度導入グループ：6グループ】

石田中・寄宮中・古蔵中・仲井真中・那覇中・上山中小中一貫教育グループ

## 1. 今年度後半の取組

- 小中授業参観シート作成・活用による授業研究会の実施
- 小中各校の諸学力調査の分析結果交換と小中一貫で取り組む学力向上の具体的取組の決定、授業前の「黙想」を開始する。→2学期から
- 合同授業研究テーマ「思考力・判断力・表現力の育成」の実践

## 2. 次年度教育計画への反映

- 学校経営の基本理念・方針に小中一貫教育を具体的取組を盛り込む。
- 校内研究のテーマ→「かく活動を中心に」という柱は共通実践とする。
- 乗り入れ指導→小学校の教師が中学校へ、中学校の教師が小学校へ
- 教育計画のグループ校調整（小中一貫の視点、行事を入れる）

## 3. 小中の共通理解の工夫

- 教頭、教務部会での共通事項を各学校へ発信し、共通実践することの温度差がないようにする。（人事異動に十分配慮した円滑なスタート）
- グループ校長会、教頭会で情報共有、現状確認、計画、提案
- 企画委員会を設置し、全体会への提案を進める。
- Web会議の活用（月1回、合同三役会に活用）



## 【第3期 平成28年度導入グループ：7グループ】

安岡中・真和志中・松島中・松城中・首里中・城北中・石嶺中小中一貫教育グループ

## 1. 「児童生徒の良さ・課題」

- あいさつができ、当番活動、朝ボランティアを頑張っている。
- 学力向上の成果がある、学習規律の徹底、ベル席の徹底
- 集中力、積極性の乏しい子が多い。自尊心が低い子が多い。
- 自分の思い、考えを伝えることが苦手な子が多い。

## 2. 学校評価の状況

- 学校は、方針や活動内容をよく伝えているとの回答が多い。
- 「共通実践」を行っていることについて評価が高い。
- 児童・生徒・保護者からの学校評価は良好である。
- 授業参観やPTA活動への参加率は低い。意識の二極化が見られる。

## 3. 学校経営の重点

- 確かな学力の定着、家庭学習の強化、諸検査結果分析の活用。
- 学習規律の徹底（黙想・黙動）集会、授業開始前、授業時間の確保
- 個に応じた指導、算数の授業改善（TT）、ミニ研修会（年2回）
- あいさつの徹底、地域との関わりを重視
- 相談員等の活用充実（SC、SSW、小中アシスト、教育相談支援員）





## 4 小中学校間の教育課程をつなぐ

国の中央教育審議会では、小中一貫教育を推進するにあたり、「小学校と中学校の教育課程の系統性を確保していくことが重要」と示しています。資料をご覧ください。

### 「小中連携・一貫教育に関する主な意見等の整理」



〈一部抜粋〉

中央教育審議会初等中等教育分科会  
学校段階間の連携・接続等に関する作業部会  
(平成 24 年 7 月 13 日)

- 小中一貫教育の実施に当たっては、**小学校と中学校の教育課程の系統性を確保していくことが重要**であり、そのためには、小・中学校教員が互いの学校の教育課程を理解することが求められる。
- 具体的には、**小学校教員は自らが指導する内容が中学校における学習にどのようにつながっていくのかを理解しながら指導し、中学校教員は小学校における学習の程度を把握した上で各分野の指導をすることが必要**である。
- その際、例えば、小・中学校教員の合同研修会における意見交換を通じ、学力観、授業観を一貫したものとすることで、系統性の担保につなげていくことが考えられる。
- そうした系統性の確保とともに、各学校段階における児童生徒の発達の段階を踏まえた独自性を尊重していくことも重要である。例えば、小学校における学級担任制と中学校における教科担任制は、児童生徒の発達に合わせ、指導における専門性を高めていく観点から採用されているものであり、こうした独自性の尊重も必要である。
- 地域の実情を踏まえた小中一貫教育を行うためには、学校教育活動全体を視野に入れ、小中一貫教育の取組を計画していくことが重要である。**
- また、**地域において育てたい子ども像**について関係者が議論し、それを実現するための一貫した教育課程を小・中学校が協働して編成し、教材を連携して開発することが、教員自身が教育課程の見通しをもって主体的に取り組むことにつながり、効果的な取組となるものと考えられる。
- その際、小・中学校教育における**基礎的、普遍的内容は尊重した上で**地域の実情を踏まえた教育を行っていくことが望ましい。



金城中学校小中一貫教育グループの様子  
(金城中・金城小・さつき小・小禄小)



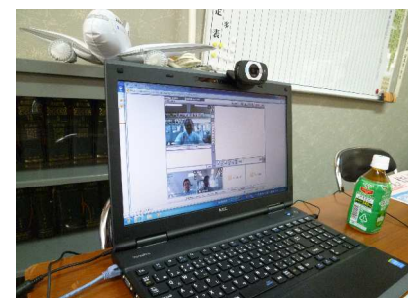
協議報告の様子①：石嶺中小中一貫教育グループ  
(石嶺中・石嶺小・城東小)



協議報告の様子②：寄宮中小中一貫教育グループ  
(寄宮中・真和志小・与儀小・上間小)



協議報告の様子③：鏡原中小中一貫教育グループ  
(鏡原中・垣花小・小禄南小)



鏡原中グループの報告にあった「Web-会議システム」の定例ミーティングの様子（詳細は次ページ）

## 5 第2回小中一貫教育コーディネーター研修会

平成26年10月21日(火)、第2回小中一貫教育コーディネーター研修会が那覇市役所10F会議室で開催されました。

参加者は、神原中グループ：大川哲史教諭、小禄中グループ：宮城恵美子教諭、鏡原中グループ：久志奈美子教諭、金城中グループ：名嘉眞千枝美教諭の4名の「小中一貫教育コーディネーター」が参加し、コーディネーターとしての資質向上を図る研修を実施いたしました。研修会の具体的な内容は下記の通りです。

- |                               |        |      |
|-------------------------------|--------|------|
| 1 開会のことば                      | 指導主事   | 稲福政彦 |
| 2 室長あいさつ                      | 室長     | 松田哲哉 |
| 3 講義「コーディネーターの具体的実践」          | アドバイザー | 池間生子 |
| 4 説明「小中一貫教育フォーラムについて」         | 指導主事   | 稲福政彦 |
| 5 情報交換                        |        |      |
| 「小中一貫教育フォーラム発表アイデアシート」を活用した調整 |        |      |
| 6 事務連絡                        | 主査     | 備瀬純子 |
| 7 閉会のことば                      | 指導主事   | 稲福政彦 |



小中一貫教育コーディネーター研修会の様子  
H26. 10. 21 (火) 於：市役所

講義では「**コーディネーターの具体的実践**」について池間生子小中一貫教育アドバイザーからコーディネーターの具体的取組と配慮事項について助言をいただきました。その後の説明、情報交換では、12月26日(金)那覇市民会館で実施される小中一貫教育フォーラムについて「**小中一貫教育フォーラム発表アイデアシート**」を活用し発表骨子の調整を行いました。

小中一貫教育フォーラムに係る調整は、今後「Web-meeting 会議システム」でも3回程度、実施していく予定です。

これからも小中一貫教育コーディネーターの情報交換を密に行い、コーディネーターの向上を図っていきたく考えています。

## 6 「Web-meeting 会議システム」活用例紹介

### 〈活用例1〉 Web-meeting 会議システムを活用した「定例ミーティング」

鏡原中学校小中一貫教育グループでは、鏡原中学校・垣花小学校・小禄南小学校の3校の校長先生、教頭先生、教務主任が「Web-meeting 会議システム」を活用した週1回の「定例ミーティング」を実施しています。

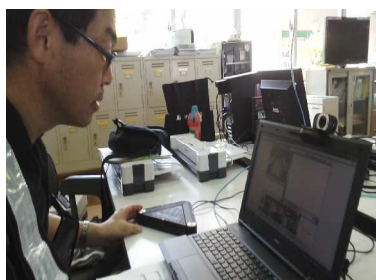
校長先生が火曜日、教頭先生が水曜日、教務の先生が木曜日という設定で、グループ内のWeb-meeting 会議が行われています。「気軽に、朝の10分間ミーティングから始めてみましょう」との考え方で、離れた学校間で和やかな情報交換が行われています。

### 〈活用例2〉 Web-meeting 会議システムを活用した「防災訓練」の実施

平成26年9月6日(土)、那覇市市民防災室では、「大津波警報が発令」されたとの想定で那覇市総合防災訓練を実施しました。

市役所本庁舎内に設置された災害対策本部では、被害状況等について迅速に情報収集し対応を行うとともに、避難所を開設し、市民の安心・安全を支援する訓練を実施しました。

この訓練では、避難所となった真嘉比小学校、城岳小学校を「Web-meeting 会議システム」で結び、災害対策本部が情報収集する新たな試みも実施されました。各避難所の担当者からは、避難者の数、テント設営、炊き出しの様子等について丁寧に報告されていました。



避難所（真嘉比小）の様子を伝える市職員



避難所に指示を送る災害対策本部（市役所）



週1回の調整をWeb会議で実施（鏡原中グループ）  
H26. 10. 7（火）於：垣花小学校



津波避難訓練でWeb-meeting 会議システムを活用  
H26. 9. 6（土）於：市役所

## 7 主な予定（小中一貫教育関連）

### 〈10月〉

- 10月27日（月）～小中一貫教育推進に係る学校支援訪問
- 11月28日（金）
- 10月28日（火） 小中合同授業研究会（城北中学校グループ）
- 10月29日（水） 中学校合唱コンクール見学（神原中学校グループ）  
小中合同授業研究会（金城中学校グループ）
- 10月30日（木） 第9回小中一貫教育全国サミット in 姫路
- 10月31日（金） 中学校合唱コンクール見学（鏡原中学校グループ）  
小中合同授業研究会（仲井真中学校グループ）



### 〈11月〉

- 11月11日（火） 本庁ブロック校長会
- 11月18日（火） 真和志南ブロック校長会
- 11月20日（木） 第5回校長連絡協議会  
小中合同学校保健委員会（石嶺中学校グループ）
- 11月21日（金） 小中合同授業研究会（小禄中学校グループ）  
小中合同授業研究会（仲井真中学校グループ）
- 11月26日（水） 小中合同授業研究会（鏡原中学校グループ）

### 〈12月〉

- 12月 3日（水） 小中合同授業研究会（鏡原中学校グループ）
- 12月 4日（木）～5（金） 沖縄県学力到達度調査（中）
- 12月 9日（火） 本庁ブロック校長会
- 12月13日（土） なは教育の日
- 12月16日（火） 真和志南ブロック校長会
- 12月26日（金） **小中一貫教育フォーラム**  
(13:00 那覇市民会館大ホール)



稲穂（於：真嘉比小学校・幼稚園）  
(H26.10.8)



2014年10月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    | 1  | 2  | 3  | 4  |
| 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |    |



2014年11月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    |    |    |    | 1  |
| 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  |
| 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 30 |    |    |    |    |    |    |